

- ウクライナ歴史地理研究の重要資料
- 古代から 2022 年 2 月のウクライナ侵攻を含む時期までをカバー
- ウクライナ人の生活(文化、教育、宗教、人口変動、経済、国境形成など)理解に必須の文献

ウクライナ歴史アトラス (ウクライナ語版)

増補第 2 版 責任編集ユーリー・ロザ

キーウ、「МАПА」社、2022 年刊、324 頁、24.5 x 31cm

Історичний атлас України. 2-е вид., доп.

Авт.-сост.: Лоза Ю.

Київ, <МАПА>. 2022. 324 с. ISBN9786177208746. (R239269)

hard ¥24,860.

■ウクライナに初めて人類が現れた古代から 2022 年初めまでの時期をカバーする歴史アトラスです。

■初版刊行年の 2015 年から 2022 年 2 月 24 日のロシア連邦軍の全面的なウクライナ侵攻までの時期を、増補版として、新たに反映しました。所収の歴史地図は、9 つのテーマ別の「部」に分類され、各「部」内で年代順に掲載されています。

■ウクライナの地での原始共同体の発展、その移動、インド・ヨーロッパ語族、スラヴ民族の出現の〈諸民族の時代〉を重視するとともに、〈ウクライナ国家〉の歴史に重点を置いています。すなわち、キエフ・ルーシ、ガリチア=ヴォルィニ公国、ウクライナ・コサック国、20~21 世紀の諸国家など。

■国家の歴史とともに、ウクライナ人の〈生活〉(文化、教育、宗教、人口変動、経済、国境形成など)の歴史が、各地図内の記述と解説を通して、理解できるように編集されています。

■制作責任者は、ウクライナ屈指の地図製作者ユーリー・ロザ(1950-2021)です。ロザはウクライナ地方の多くの歴史地図、行政地図の制作を行ないました。本書(初版)の準備に先行するアトラスとしては、「ウクライナ歴史アトラス: 古代の過去 ルーシ(キエフ国家、ガリチア=ヴォルィニ公国)」(2010 年刊、300 頁)、「ルーシ=ウクライナの領土機構(10~13 世紀): アトラス」(2012 年刊、54 頁)があります(いずれもウクライナ語版)。本書はこの二点の著作の成果を踏まえて制作されました。

■ユーリー・ロザは地図の制作・出版の事業に一生を捧げた地図製作者であり、最後は、本書の版元である地図出版社「МАПА(=地図)」社の編集長を務めていました。ロザ自身はロシア連邦軍のウクライナ侵攻の数か月前に逝去しましたが、版元としては、この「侵攻」を反映させた形で 2022 年内に「増補第 2 版」を刊行した次第です。

